

タシマツルギアブ

ハエ目ツルギアブ科

Acrosathe tashimai Nagatomi et Lyneborg

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

選定理由

土木工事の影響を受けやすい海浜にすむうえ、生息地が局所的である。

形態

体長10mm内外、胸部及び腹部は暗褐色をしており、白色の軟毛で覆われている。

国内分布

北海道（斜里町、サロマ湖）、新潟県、石川県、福岡県、佐賀県、鹿児島県。

県内分布

1996年に能美市山口の海浜で採集された記録が唯一であるが、現在も生息しているか不明である。

生態

海浜性のアブで、小昆虫を捕らえ体液を吸う。

生息地の条件

海浜植物群落の広がる砂丘地に生息する。

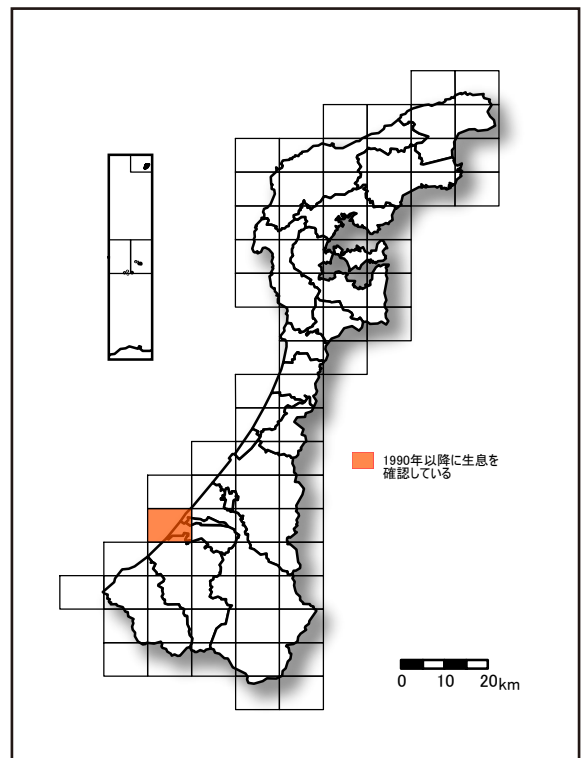
生存の危機

海浜の浸食や護岸工事により、海浜植物が消滅すると絶滅する恐れがある。（A）

参考文献

Nagatomi, A. and Lyneborg, L. 1988. The Japanese *Acrosathe* (Diptera, thenanidae). *Kontyu*, 56: 600-617.

写真（図）はありません。



県内の分布